

# ボリビア フォローアップ研修 報告書

対象：職業訓練の運営・管理と質的強化（C）コース（2018年度受入れ分）

期間：2019年10月4日～10月16日

同行者：JICA九州 迫野 明子

1. 当初のスケジュール表
2. ボリビア訪問の概要
  - (1) 国情
  - (2) 大まかな訪問軌跡
3. 研修記録
4. 参考写真

2019年12月11日

北九州国際技術協力協会

有竹 岩夫

1. 当初のスケジュール表 (諸事情で一部変更)

フォローアップ調査日程

日付	曜日	時間	場所	内容
10月4日	金曜日			福岡発
10月5日	土曜日		サンタクルス	ボリビア・サンタクルス着
10月6日	日曜日	終日	サンタクルス	市内視察
10月7日	月曜日	9:30 - 12:30 14:30 - 17:30	サンタクルス	職業訓練校向けセミナー 中小企業向けセミナー
10月8日	火曜日	9:30 - 12:30 16:00 -	サンタクルス	ドン・ボスコ職業訓練校、インフォカル訓練校視察 移動 (サンタクルス⇒ラパス)
10月9日	水曜日	9:30 - 12:30 14:30 - 17:30	ラパス	職業訓練校向けセミナー 中小企業向けセミナー
10月10日	木曜日	終日	ラパス	フォローアップ調査@ATENAまたは宿泊先ホテル (選挙前のためストライキや道路閉鎖の可能性あり。 その場合ホテル待機。)
10月11日	金曜日	9:30 - 12:30 14:00-14:30 15:30 - 16:30 -	ラパス	アヤクチョ技術専門学校、ATENA技術専門学校視察 JICAボリビア事務所訪問 日本大使館表敬訪問 ATENAフォローアップ調査
10月12日	土曜日	終日	ラパス	書類整理
10月13日	日曜日	終日	ラパス	書類整理
10月14日	月曜日		ラパス	ボリビア・ラパス発
10月15日	火曜日			移動
10月16日	水曜日			帰国

面会者リスト

No.	所属	役職	氏名
1	INFOCAL	Presidente	Gabriel Dabdoub Alvarez
2	INFOCAL	Director Ejecutivo	Jimmy Gutierrez Purches
3	INFOCAL	Marketing Cummunication	Alejandro Soletto Oliva
4	INFOCAL	Career Head	Marisol Parra Cabrera
5	Universidad de Aquino Bolivia	Vice rector	Claudia Camacho Palacio
6	Gabriel Rene Moreno University	Professor	Juan Jose Manrique Sotelo
7	Ayacucho Technological Institute	Rector	Jose Antonio Apala Bello
8	Ayacucho Technological Institute	Administrative Director	Carmina Jimena Leano Ramirez
9	ATENEA Technical Institute	Director Ejecutivo	Ana Maria Ramirez Castillo
10	ATENEA Technical Institute	Managing Director	Fabricio Augusto Ramirez Castillo
11	ATENEA Technical Institute	Directora Academica del Instututo Atenea	Ana Sanjines
12	ATENEA Technical Institute	Responsible de Coordinacion Academia	Veronica Escalante
13	ATENEA Technical Institute	Responsible de Sistema de Gestion de Calidad	Pamela Sangueza Q.
14	ATENEA Technical Institute	Responsible de Tecnologia de la Informacion y Comunicacion	Sergio Medina
15	ATENEA Technical Institute	Responsible Contable Administrativo y Talento Humano	Melani Cossio
16	Univeridad Mayor de San Andres	Decano	Víctor Hugo Herrera Cusicanqui
17	在ボリビア日本国大使館	次席・参事官	了泉庵 達士
18	在ボリビア日本国大使館	一等書記官	茂木 健司
19	在ボリビア日本国大使館	二等書記官	櫻井 健
20	JICAボリビア事務所	所長	小原 学
21	JICAボリビア事務所	次長	秋山 慎太郎
22	JICAボリビア事務所	職員	伴 大地
23	JICAボリビア事務所	健康管理員	濱口 陽子
24	JICAボリビア事務所	ナショナルスタッフ	Patricia Okabe
25	JICAボリビア事務所	企画調査員	中島 敏博
26		通訳	中島 美鈴

## 2. ボリビア訪問の概要

### (1) 国情

通称ボリビアは、36の多民族国家（正式名称はボリビア多民族国）

今年が、日本人移民140周年の年、8月に秋篠宮眞子内親王ボリビア訪問

最後の移民が、JICAボリビア パトリシア岡部さんのご尊父とのこと

訪問時、大統領選挙をめぐって一部のストライキやデモが発生中（大きな混乱には至らず）

（その後の顛末は報道で紹介された通り、一番不安定な時期にラパスからの研修員が来日しており、かなり不安な日々だった様子。今は回復とのこと。）

実質上の首都は、ラパス、標高が3600m、空港があるエルアルト市は4000mに位置する。

従って、出発にあたって高山病の投薬や体調管理を厳しく指導された。

一方、低地にある サンタクルス（1日目の訪問先）は気温が高くアマゾンの奥に位置することもある。ボリビアのビザ取得には、黄熱病の予防接種が義務付けられている。

### (2) 大まかな訪問軌跡

日本からは、福岡⇒成田⇒メキシコシティ⇒パナマ⇒ボリビア（サンタクルス） 約1日半（36時間）

帰りは、ボリビア（ラパス）⇒リマ⇒メキシコシティ⇒成田⇒福岡

- ① 5日の早朝3時にサンタクルス空港着、JICAボリビアの担当者（パトリシア岡部さん）出迎え  
気温は30度から35度との情報だったが、雨もあって肌寒い日が続く
- ② 6日の日曜日は、パトリシアさんの案内で、市内の自然公園訪問  
南米らしい鳥や動物（当日は寒くて見られなかったが）が棲息
- ③ 7日、8日はサンタクルスの訓練校2校訪問と2回の講演
- ④ 8日の夕刻に、ラパス（正しくは エルアルト）空港に向かい、22時過ぎに到着  
高度4000メートルにあり、到着直後は呼吸がきつく、深い深呼吸で少し楽に  
高山病には、ココ茶が良いということで空港で休息  
23時にホテル（ここは3600メートル）着 呼吸が少し楽な気も  
今日は、食事、アルコール、シャワーは禁物と厳しいパトリシアさんからの指示  
高山病は消化機能も衰えさせるということ
- ⑤ 翌日は3600メートルの高地への移動後初の会場での講演、体調面の不安もあったが問題なく終了  
ラパス（実質上の首都）は、すり鉢の中にできたような街、  
空港があるエルアルトとの高度差が約400から600メートル（この高度差がすり鉢の深さに相当）  
全て坂道、しかも車で渋滞、この渋滞対策として、5コースのロープウェイが張り巡らされている  
空港があるエルアルトからJICAがあるラパス市中心部まで高度差600メートルを約15分（？）程度  
観光用ではなく、市民の通常の交通手段  
運賃は格安、投資の回収が不可能らしい
- ⑥ ラパスで訓練校2校（共にフォローアップ対象）訪問指導と2回の講演
- ⑦ 持参した薬から、現地で使われる薬服用に変更したこともあって、高山病は回避  
ただ、普通の動きでも息が上がることもあり、急な動きも禁物（特に階段は要注意）  
但し、食欲は低下、アルコールも控えめ（平たく言えば あまり飲む気にならない）
- ⑧ ボリビアの有名な観光地である「ウユニ塩湖」を土日の1泊2日でプライベート観光  
観光客の増加（日本人観光客は数年前は7000人が昨年は17000人と急増）でトイレ、ごみ処理  
の問題が顕在化（実態は左程の問題とも思えないが）
- ⑨ 最終月曜日は、早朝4時半にホテル発（パトリシアさん同行）
- ⑩ JICAボリビアのパトリシアさん、フォローアップ校のファブリシオさんのご家族を含んでの  
丁寧な対応に深く感謝、おかげで快適な仕事、滞在をすることができた。

### 3. 研修記録

月日	訪問先	概要
10/7	Don Bosco 校 サンタクルス市	<p>宗教法人が運営する半公立の訓練校</p> <p>電気、機械、自動車など6科からなる</p> <p>各科 10人から25人が在籍</p> <p>16歳以上を対象に、基礎、補助（基礎以上の内容）コースを各々1年課程</p> <p>若い女性のJICAボランティアが育児教育面で支援中</p> <p>課題は、カリキュラムの更新、企業とのマッチング</p> <p>但し、専門の担当者がおり、かなりの対応はできている</p> <p>訓練現場は、若い教員のもと、生徒は明るく活き活きと学んでいることが伺える</p> <p>教育施設費用などを生徒が負担するなど、学校運営での課題は大きい</p>
10/8	INFOCAL校 サンタクルス市	<p>公営の訓練校（11月に来日した研修員によれば私立校になったとのこと）</p> <p>いくつかの都市にINFOCALがあるが、各々独立採算で運営</p> <p>JICAの支援での施設最新化などを積極的に行っている</p> <p>校長が延々と自慢話を続ける中、課題を問うと以下のような回答</p> <p>① どの分野を強化していくかという方向性</p> <p>② 設備（機械）の更新（最新技術の導入）</p> <p>③ 卒業生の市場への投入改善</p> <p>起業家促進</p> <p>訓練現場は、ここも生徒が活き活きと学んでいる様子が伺える</p> <p>11月の日本での研修に参加する予定</p>
10/9	Don Bosco 校 エル アルト市	<p>標高4000メートルにある訓練校（サンタクルスの姉妹校）</p> <p>機械、自動車、電気、経理など、8学科</p> <p>生徒数は、約2400人 教師は約100人</p> <p>内容などはサンタクルス校と同じだが、相互の交流がある</p> <p>JICAボランティアの指導での5S活動を取り込み、形ができている</p> <p>日本からは、礼儀正しさ、責任感を学んだとのこと</p> <p>また、人としての価値は、時間厳守、正直であることなどを教えている</p>
10/10	Ayacucho校 ラパス市	<p>2014年に現理事長が職業訓練コースに参加（宮本コースリーダー担当）</p> <p>研修後、5年の中期経営計画を策定</p> <p>同時に年度計画も策定</p> <p>毎月、毎年の遂行状況をチェックするという方針管理を実践中</p> <p>スタッフ数人には各テーマを担当させ、責任をもって運営する仕組みを構築</p> <p>スタッフの意見は、最初は理事長が日本で学んできたことなので</p> <p>仕方なく従っていたが、重要であることに気づき、今では積極的に活動している、とのこと</p> <p>日本での研修が活かされている好事例</p> <p>訓練現場は、ここも生徒が活き活きと学んでいる様子が伺える</p> <p>ボランティアの指導で、5Sを推進しているというが、現場の管理には課題が残る</p> <p>3Sレベルの維持がおろそかになっておりその旨を指摘（快諾）</p> <p>生徒2人と教師でジャガイモ堀の機械を開発、国からの表彰（特許申請を推奨）</p> <p>11月の日本での研修に参加する予定</p>

10/10	Ayacucho校 ラパス市	<p>日本からの訪問ということで</p> <p>① 全生徒を集めての朝礼、理事長の趣旨説明と訓示</p> <p>② 日本側挨拶 : JICA九州 迫野氏</p> <p>③ 国家斉唱(日本は国家吹奏)、国旗掲揚</p> <p>④ 同校の校歌らしきものの斉唱(正しくはウルグアイとの戦争時の軍歌)などの歓待を受けた</p>
10/10	Atenea校 ラパス市	<p>フォローアップ対象校</p> <p>昨年の職業訓練コースに参加した、ファブリシオ氏が理事長を務める私立の訓練校</p> <p>同氏の母親が起業し受け継いだとのこと</p> <p>ラパス市がメイン校、エルアルト市にも分校を開設</p> <p>ラパスでの増設などは困難なため、エルアルト校を拡大充実させる方針</p> <p>昨年の10月に日本で策定したアクションプランに基づき活動中</p> <p>1年間の実績(遂行状況)を把握し、課題の整理などを実施</p> <p>教員とは別のスタッフにテーマを与え、スタッフ同士或いはスタッフ間でのミーティングにより、テーマ解決の体制を構築</p> <p>活動開始後、スケジュールと実施内容を欲張ったという反省もあったが意欲的な計画は重要であり、やってみてわかることもある、反省は悪いことではない、などアドバイス</p> <p>研修後、1年間で方針管理を推進し、課題に気づき悩みながら進んでいるこの状況を続けることで、一層の経営効率化と業容拡大が期待できる</p> <p>明確な成果は見られないが、方針管理の仕組みは出来上がっていることを評価</p> <p>放課は、フォルクローレ演奏とダンス披露で歓待を受けた。</p>
その他		<p>2016年の研修参加者(ファンホセ氏 獣医師 を呼び出しての)の面談</p> <p>日本で学んだ、時間厳守、挨拶励行など基本的な考えや行動を学生に伝え教育している</p>
講演		
10/7	サンタクルス	モレノ大学講堂での講演
10/8	サンタクルス	<p>対象は7日が中小企業関係者、8日が職業訓練校関係者</p> <p>共に、開催校の学生も参加</p> <p>講演内容は、「継続する改善活動」をテーマに、PDCA,3S の重要性和それらを継続することの重要性を中心に約2時間</p> <p>聴衆数は各々約 300から400人</p>
10/9	ラパス	工科大学の講堂
10/11	ラパス	<p>対象は9日が職業訓練校関係者、11日が中小企業関係者</p> <p>講演内容はサンタクルスにほぼ同じ</p> <p>11日は、改善事例として、Ayacucho の取組みと Atenea の ファブリシオ氏のアクションプランとその遂行状況を紹介</p> <p>方針管理、継続することの重要性を紹介、日本ではなく、ボリビアでもこのような活動が実践されている、国中に広めていくことを推奨</p> <p>聴衆数は約 300人</p>
その他		<p>ラパス市の 日本大使館を表敬訪問</p> <p>JICAボリビア訪問</p>

#### 4. 参考写真

アヤクーチョでのアクションプランその後報告



訓練校風景

自動車分解組み立て



小型モータの分解修理、組み立て



上記とも生産工場はないが、修理業、販売業が就職先（一部起業も）

JICAボランティア指導成果（5S）

アヤクーチョ校



講演会場（サンタクルスの大学講堂）

\* 設備は最新鋭



首都 ラパス（一番上が標高約4000m）  
ロープウェイのゴンドラ2台



サンタクルスのスーパー  
日本と変わらない  
(迫野さんとJICAポリビア パトリシアさん)



観光地 ウユニ塩湖（乾期はこのように一面塩の原っぱ 奥行は200Km以上）



一面真っ白、音もない光景  
途轍もなく広いスキー場  
との喩え

\* 観光写真で見る鏡面は  
3月頃の雨期の限られた  
環境下でしか見られない

先住民の方の露店（決まった店を持っているらしい）

